

女性活躍推進事業【鳥取県】

地域の実情と課題

- (1) 管理的地位に占める女性割合が低い
 - (2) 女性の離職率が男性と比べて高い
- **経営者の意識改革、女性の育成等の取組支援**
- **出産・子育てや介護による離職を防ぐ、女性の就業継続支援が必要**

目的・目標

2020年までに**管理的地位**の女性割合**25%**以上
(従業員数100名以上の企業は**30%**以上)

管理的地位 … 部下を管理監督する立場にある職
(肩書問わない)

事業の特徴

県内の女性活躍を推進するために立ち上げた
官民連携組織

「女星(じょせい)活躍とっとり会議」
を推進母体とし、以下の事業を実施。

- ① 女性の就業継続支援・キャリア形成・
スキルアップ支援
- ② 女性活躍の機運醸成

連携団体

「女星(じょせい)活躍とっとり会議」

○メンバー

鳥取県商工会議所連合会、鳥取県商工会連合会、
鳥取県中小企業団体中央会、鳥取県経営者協会、
日本労働組合総連合会鳥取県連合会、鳥取県労働局、
鳥取県、市町村、鳥取大学、鳥取環境大学、
鳥取短期大学・鳥取看護大学、鳥取県銀行協会

事業の効果

女性活躍に積極的に取組む企業である「輝く女性活躍パ
ワーアップ企業」及び従業員の家庭と仕事の両立を応援する
「イクボス・ファミボス宣言企業」が増加した。

「輝く女性パワーアップ企業」 **64社**
「イクボス・ファミボス宣言企業」 **103社**

今後の課題

今後も、「**輝く女性パワーアップ企業**」を増やす
ための取組を継続するとともに、新たな取組
(女性活躍のための仕組みづくり)についても、
検討していく。

女性の就業継続支援 キャリア形成・スキルアップ支援

【課題】女性の離職率が男性と比べて高い。また、女性の平均勤続年数が男性と比べて短い。

⇒育児・介護等による離職の防止、多様な働き方の導入など働きやすい職場環境づくりを推進

(1) 託児機能付きサテライトオフィスの運営（鳥取・米子の2か所）

テレワークの試行の場としてサテライトオフィスを運営。企業が多様な働き方の導入を促進した。

→未就学児の一時預かり等を実施している保育施設と同じ建物内でテレワークスペースと託児スペースからなるサテライトオフィスを運営。

(2) 介護と仕事の両立のためのアドバイスを実施

介護等と仕事の両立しやすい職場環境づくりの推進のため、介護等支援コーディネーターを県内企業へ無料で派遣し、アドバイスを実施。

【課題】管理的地位に占める女性割合が男性と比べて低い

⇒女性のキャリア形成やスキルアップ支援を実施

(1) 女性ロールモデルの発信

子育てと仕事を両立しながら働く女性や、女性の入職が少ない分野等で活躍する女性ロールモデルを県民に紹介。

※ロールモデル：

社員等が将来において目指したいと思う模範となる存在

(2) 女性リーダー育成セミナーの開催

女性従業員を対象としたキャリア形成、スキルアップに資するセミナーを開催。

女性活躍の機運醸成

【課題】女性活躍にあたり、ワーク・ライフ・バランスが整っているといえず、家庭での負担が女性に偏っている。

⇒経営者の意識改革、男性の家事・育児参加の促進による女性活躍の機運醸成

(1) ワーク・ライフ・バランスの実践リーダー「イクボス・ファミボス」の取組の普及拡大

従業員の家庭と仕事の両立を応援し、自らもワーク・ライフ・バランスを実践するリーダー「イクボス・ファミボス」の優良取組事例を年間を通じて発信するとともに、「イクボス・ファミボス」実践のためのノウハウを学ぶ養成塾や、リーディング企業から事例を直に学ぶ見学会・トップとの意見交換会の開催を通じて、経営トップの意識改革を推進。

(2) ワーク・ライフ・バランスと男性の家事・育児参加を促す取組

① 有給休暇取得率向上を目指すモデル企業の課題分析、実施計画にそったワークショップ、セミナー等を通じたコンサルティングの実施と横展開。

② 男性の家事・育児参加を考えるセミナー・イベントの開催
家事シェアを考える参加型セミナー、夫婦・家族間のコミュニケーション講座、男性の家事・育児参加促進PRイベント等の実施。